



Form Your Vision



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績 (2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	26,459	9.7	5,182	0.3	5,806	20.9	4,123	21.6
2023年9月期第3四半期	24,121	4.9	5,167	21.8	4,802	△30.5	3,392	△32.9

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 5,833百万円 (48.8%) 2023年9月期第3四半期 3,919百万円 (△49.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	275.06	-
2023年9月期第3四半期	226.27	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	74,803	54,418	72.7
2023年9月期	70,195	50,384	71.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 54,375百万円 2023年9月期 50,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	120.00	120.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期(予想)	-	-	-	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	6.9	7,800	8.8	7,900	13.6	5,550	9.1	370.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	15,348,720株	2023年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	357,440株	2023年9月期	357,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	14,991,284株	2023年9月期3Q	14,991,360株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetおよび当社ウェブサイト同日掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 補足情報	13
受注及び販売の実績	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年6月30日）におきましては、世界的な景気減速懸念の高まりや、欧州・中東地域における地政学リスクの継続等により、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である非飲料容器分野において、主力製品である1ステップ機の競争力強化に努めるべく、「ゼロ・クーリングシステム（生産性と容器品質の向上を図る画期的な成形手法）」及び「クイックモールドチェンジ（金型交換時間短縮仕様）」の更なる改良に努めました。また、戦略領域である飲料容器分野においては、大量生産から中小ロット生産のあらゆる顧客ニーズに応えるべく、「PF36シリーズ」の機能向上及び中小ロット生産向けの新型機の開発を進めております。更に、顧客の生産性向上をサポートするDX戦略においては、成形機の制御・モニタリングシステムである「Vision1」の提案を進め、顧客とのつながりを強化しております。

販売面では、前期に創設した営業本部の指揮のもと、世界各国の営業情報の有機的連携を図り、グローバル顧客への提案力強化に努めた結果、主力の「ストレッチブロー成形機」を中心に、受注高が大きく増加しました。また、安定収益の柱となる「金型」及び「部品その他」の受注は引き続き好調を維持しました。なお、今期の主要展示会につきましては、日本本社での社内展示会、中国展示会（Chinaplas2024）、北米展示会（NPE2024）に出展し、新規顧客の開拓を含め、有力引き合いを獲得しました。

生産面では、前期に完了したインド工場への大規模設備投資により生産能力が増強された結果、インド工場への大型機及び新型機が生産移管が進展しました。現在は、従来から高水準であった金型部品の生産に加え、機械部品の生産状況も向上しており、当社の企業競争力の源泉であるインド工場の有効活用を今後一層進めて参ります。なお、日本本社近隣に用地取得済みである新工場の建設計画につきましては、グローバルでの生産最適の観点から、引き続き検討を進めております。

環境対応技術では、「CO2削減」及び「プラスチックごみ削減」の2つのテーマにおいて研究開発を進めております。これらのテーマは顧客の関心も高く、有用なプラスチックの循環利用を通じ、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

受注及び販売成績につきましては、各種展示会での提案強化が実を結び、受注環境は好調に推移しました。その結果、当期の受注高は31,924百万円（前年同期比127.5%）、受注残高も19,726百万円（前年同期末比126.7%）と、第3四半期として過去最高を記録しました。また、売上高につきましては、豊富な受注残高の消化に加え、円安の影響もあり26,459百万円（前年同期比109.7%）と、第3四半期として過去2番目の高さとなりました。

利益面につきましては、インフレ対応による人件費増に加え、研究開発費の消化が前年同期に比べ順調に進行したこと等が負担となり、営業利益は5,182百万円（同100.3%）と微増に留まりました。一方、急激な円安進行により外貨建て資産の為替評価が差益に転じたため、経常利益は5,806百万円（同120.9%）と大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も4,123百万円（同121.6%）と大幅増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期	26,459	12,291	5,182	5,806	4,123
前第3四半期	24,121	11,341	5,167	4,802	3,392
前年同期比	109.7%	108.4%	100.3%	120.9%	121.6%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第3四半期	12,685	8,589	1,355	3,828	26,459
前第3四半期	11,813	7,487	1,411	3,409	24,121
前年同期比	107.4%	114.7%	96.0%	112.3%	109.7%

製品別の売上高状況につきましては、安定収益の柱となる金型（前年同期比114.7%）及び部品その他（同112.3%）が、米州を筆頭に引き続き好調を維持しており、第3四半期として過去最高の売上となりました。加えて、主力のストレッチブロー成形機（同107.4%）につきましても、豊富な受注残高を消化した結果、第3四半期として過去2番目の高さとなりました。一方、付属機器（同96.0%）につきましては、製品・地域ミックスの影響により減収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別受注状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	9,848	5,588	8,722	7,764	31,924
前第3四半期	7,364	5,799	8,352	3,525	25,042
前年同期比	133.7%	96.4%	104.4%	220.2%	127.5%

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	9,363	5,309	7,776	4,010	26,459
前第3四半期	7,913	4,558	7,500	4,149	24,121
前年同期比	118.3%	116.5%	103.7%	96.7%	109.7%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	1,296	775	1,579	3,727	7,379
前第3四半期	935	387	1,088	4,565	6,977
前年同期比	138.6%	200.0%	145.1%	81.6%	105.8%

① 米州

堅調な中南米地域に加え、北米でも機械需要が回復した結果、当期の受注高は9,848百万円（前年同期比133.7%）と第3四半期として過去最高となりました。売上高も好調に推移し、9,363百万円（同118.3%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により1,296百万円（同138.6%）と増益となりました。

② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、生活必需品に根差した当社需要は堅調であり、当期の受注高は5,588百万円（前年同期比96.4%）と前年同期に比べ減少したものの高水準を維持しており、第3四半期として過去2番目の高さとなりました。売上高も安定した状態を維持し、5,309百万円（同116.5%）と増収となりました。セグメント利益も前期の展示会費用の負担解消により775百万円（同200.0%）と増益となりました。

③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、インド及び中東市場が堅調に推移した結果、当期の受注高は8,722百万円（前年同期比104.4%）と第3四半期として過去最高となりました。売上高も両市場が堅調に推移したことにより7,776百万円（同103.7%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により1,579百万円（同145.1%）と増益となりました。

④ 東アジア

日本市場での大口案件（PF36）の受注が引き続き好調に推移したことにより、当期の受注高は7,764百万円（前年同期比220.2%）と第3四半期として過去最高となりました。一方、売上高につきましては、同案件の出荷を今後に控えていることもあり、4,010百万円（同96.7%）と減収となり、その結果、セグメント利益も3,727百万円（同81.6%）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第3四半期	55,434	19,369	11,898	8,486	54,418
前連結会計年度	50,699	19,496	10,265	9,545	50,384

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ4,735百万円増加し、55,434百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ127百万円減少し、19,369百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ4,607百万円増加し、74,803百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,633百万円増加し、11,898百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ1,059百万円減少し、8,486百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ4,033百万円増加し、54,418百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,578	26,799
受取手形及び売掛金	7,589	7,792
商品及び製品	2,499	2,714
仕掛品	7,752	8,778
原材料及び貯蔵品	8,284	8,081
その他	1,078	1,340
貸倒引当金	△82	△72
流動資産合計	50,699	55,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,483	5,543
機械装置及び運搬具（純額）	6,813	6,550
土地	1,988	1,988
その他（純額）	3,209	3,234
有形固定資産合計	17,494	17,318
無形固定資産	101	148
投資その他の資産		
投資有価証券	466	542
その他	1,562	1,498
貸倒引当金	△128	△138
投資その他の資産合計	1,900	1,902
固定資産合計	19,496	19,369
資産合計	70,195	74,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043	2,145
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	309	201
契約負債	3,719	5,119
賞与引当金	680	773
役員賞与引当金	43	30
その他	1,975	2,133
流動負債合計	10,265	11,898
固定負債		
長期借入金	7,611	6,491
役員退職慰労引当金	578	554
退職給付に係る負債	943	1,122
その他	412	318
固定負債合計	9,545	8,486
負債合計	19,811	20,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	41,685	44,009
自己株式	△301	△301
株主資本合計	48,440	50,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201	289
為替換算調整勘定	1,761	3,375
退職給付に係る調整累計額	△59	△54
その他の包括利益累計額合計	1,903	3,610
非支配株主持分	40	43
純資産合計	50,384	54,418
負債純資産合計	70,195	74,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,121	26,459
売上原価	12,779	14,167
売上総利益	11,341	12,291
販売費及び一般管理費	6,174	7,109
営業利益	5,167	5,182
営業外収益		
受取利息	184	174
受取配当金	9	12
為替差益	—	455
受取手数料	106	59
その他	51	62
営業外収益合計	353	763
営業外費用		
支払利息	23	29
投資有価証券評価損	—	60
為替差損	487	—
訴訟関連費用	116	22
その他	90	26
営業外費用合計	717	138
経常利益	4,802	5,806
税金等調整前四半期純利益	4,802	5,806
法人税、住民税及び事業税	1,308	1,639
法人税等調整額	103	43
法人税等合計	1,411	1,682
四半期純利益	3,391	4,124
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,392	4,123

(四半期連結包括利益計算書)
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,391	4,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	87
為替換算調整勘定	436	1,615
退職給付に係る調整額	2	5
その他の包括利益合計	528	1,708
四半期包括利益	3,919	5,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,918	5,830
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

インドの連結子会社 (ASB INTERNATIONAL PVT. LTD.) はインド国税当局より、関係会社間取引価格等に関し、下表表示の同社決算期 (3月期) 8期を対象として更正通知を受けております。インド国税当局の指摘は正当な根拠を欠くものであり、当該更正処分について承服できる内容でないことから、同社はインド国税当局 (紛争解決委員会) に対し、各決算期についてそれぞれ異議申立書を提出いたしました。異議申立が却下された各決算期については、税務裁判所へ提訴するとともに、相互協議申立を進め、引き続き当社及び連結子会社の見解の正当性を主張して参ります。

なお、2010年3月期、2011年3月期、2012年3月期及び2013年3月期については、税務裁判所において、インド国税当局の更正通知の決定を取り消し、本件の審理を同当局へ差し戻す旨の判決がありました。そのうち、2010年3月期及び2011年3月期については、同当局より更正処分取り消しの通知を受領し解消いたしました。

同社が更正通知を受け、未解消となっている案件の決算期ごとの状況は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
(1) 2012年3月期		
更正通知の受領	2016年2月29日	2016年2月29日
更正通知税額	129百万インドルピー (233百万円)	129百万インドルピー (250百万円)
異議申立書の提出	2016年4月12日	2016年4月12日
申立却下の決定	2016年11月29日	2016年11月29日
税務裁判所へ提訴	2017年3月14日	2017年3月14日
更正通知税額	122百万インドルピー (221百万円)	122百万インドルピー (237百万円)
税務裁判所の判決	2019年9月13日	2019年9月13日
(2) 2013年3月期		
更正通知の受領	2016年11月29日	2016年11月29日
更正通知税額	57百万インドルピー (103百万円)	57百万インドルピー (111百万円)
異議申立書の提出	2017年1月6日	2017年1月6日
申立却下の決定	2017年8月28日	2017年8月28日
税務裁判所へ提訴	2017年12月21日	2017年12月21日
更正通知税額	61百万インドルピー (111百万円)	61百万インドルピー (119百万円)
税務裁判所の判決	2019年9月13日	2019年9月13日
(3) 2014年3月期		
更正通知の受領	2017年11月30日	2017年11月30日
更正通知税額	40百万インドルピー (72百万円)	40百万インドルピー (77百万円)
異議申立書の提出	2017年12月29日	2017年12月29日
申立却下の決定	2018年8月27日	2018年8月27日
税務裁判所へ提訴	2018年11月2日	2018年11月2日
更正通知税額	40百万インドルピー (73百万円)	40百万インドルピー (78百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
(4) 2015年3月期		
更正通知の受領	2018年12月12日	2018年12月12日
更正通知税額	126百万インドルピー (229百万円)	126百万インドルピー (245百万円)
異議申立書の提出	2019年1月11日	2019年1月11日
申立却下の決定	2019年9月24日	2019年9月24日
税務裁判所へ提訴	2019年12月30日	2019年12月30日
更正通知税額	126百万インドルピー (229百万円)	126百万インドルピー (245百万円)
(5) 2016年3月期		
更正通知の受領	2019年12月25日	2019年12月25日
更正通知税額	38百万インドルピー (70百万円)	38百万インドルピー (75百万円)
異議申立書の提出	2020年1月23日	2020年1月23日
申立却下の決定	2021年3月4日	2021年3月4日
税務裁判所へ提訴	2021年5月25日	2021年5月25日
更正通知税額	38百万インドルピー (70百万円)	38百万インドルピー (75百万円)
(6) 2017年3月期		
更正通知の受領	2021年4月20日	2021年4月20日
更正通知税額	63百万インドルピー (114百万円)	63百万インドルピー (122百万円)
異議申立書の提出	2021年5月29日	2021年5月29日
申立却下の決定	2022年2月17日	2022年2月17日
税務裁判所へ提訴	2022年4月12日	2022年4月12日
更正通知税額	80百万インドルピー (146百万円)	80百万インドルピー (157百万円)
(7) 2018年3月期		
更正通知の受領	2021年9月22日	2021年9月22日
更正通知税額	98百万インドルピー (178百万円)	98百万インドルピー (190百万円)
異議申立書の提出	2021年10月21日	2021年10月21日
申立却下の決定	2022年8月29日	2022年8月29日
税務裁判所へ提訴	2022年10月27日	2022年10月27日
更正通知税額	97百万インドルピー (176百万円)	97百万インドルピー (189百万円)
(8) 2020年3月期		
更正通知の受領	2023年9月29日	2023年9月29日
更正通知税額	51百万インドルピー (93百万円)	51百万インドルピー (99百万円)
異議申立書の提出	2023年10月23日	2023年10月23日
申立却下の決定	—	2024年7月5日
更正通知税額	—	87百万インドルピー (169百万円)

(注) 更正通知受領時と税務裁判所提訴時の更正通知税額の差額は、更正通知税額の増減及び金利相当分の増加であります。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）
減価償却費	1,292百万円	1,421百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	7,913	4,558	7,500	4,149	24,121	—	24,121
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,913	4,558	7,500	4,149	24,121	—	24,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	34	6,473	12,091	18,652	△18,652	—
計	7,966	4,593	13,973	16,240	42,773	△18,652	24,121
セグメント利益	935	387	1,088	4,565	6,977	△1,810	5,167

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,810百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,058百万円、セグメント間取引消去248百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	9,363	5,309	7,776	4,010	26,459	—	26,459
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,363	5,309	7,776	4,010	26,459	—	26,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	20	8,574	13,410	22,132	△22,132	—
計	9,489	5,330	16,350	17,420	48,591	△22,132	26,459
セグメント利益	1,296	775	1,579	3,727	7,379	△2,196	5,182

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,196百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,405百万円、セグメント間取引消去209百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	11,824	8,086	17,278	11,451	146.1	141.6
金型	8,590	6,305	8,653	6,416	100.7	101.8
付属機器	1,228	992	1,974	1,499	160.7	151.0
部品その他	3,398	184	4,018	359	118.2	194.7
合計	25,042	15,569	31,924	19,726	127.5	126.7

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	7,364	4,003	9,848	5,195	133.7	129.8
欧州	5,799	3,145	5,588	2,416	96.4	76.8
南・西アジア	8,352	4,752	8,722	5,383	104.4	113.3
東アジア	3,525	3,667	7,764	6,730	220.2	183.5
合計	25,042	15,569	31,924	19,726	127.5	126.7

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	11,813	49.0	12,685	47.9	107.4
金型	7,487	31.0	8,589	32.5	114.7
付属機器	1,411	5.9	1,355	5.1	96.0
部品その他	3,409	14.1	3,828	14.5	112.3
合計	24,121	100.0	26,459	100.0	109.7

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	7,913	32.8	9,363	35.4	118.3
欧州	4,558	18.9	5,309	20.1	116.5
南・西アジア	7,500	31.1	7,776	29.4	103.7
東アジア	4,149	17.2	4,010	15.1	96.7
合計	24,121	100.0	26,459	100.0	109.7